

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2003-199933  
(P2003-199933A)

(43)公開日 平成15年7月15日(2003.7.15)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
A 6 3 F 7/02	3 2 0	A 6 3 F 7/02	3 2 0 2 C 0 8 8
	3 4 0		3 4 0

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 23 頁)

(21)出願番号 特願2002-1267(P2002-1267)

(22)出願日 平成14年1月8日(2002.1.8)

(71)出願人 598098526

アルゼ株式会社

東京都江東区有明3丁目1番地25

(72)発明者 岡田 和生

東京都江東区有明3-1-25 有明フロン

ティアビルA棟

(74)代理人 100106002

弁理士 正林 真之

Fターム(参考) 2C088 AA17 AA35 AA36 AA42 BA41

BC07 BC22 BC23 CA27 CA31

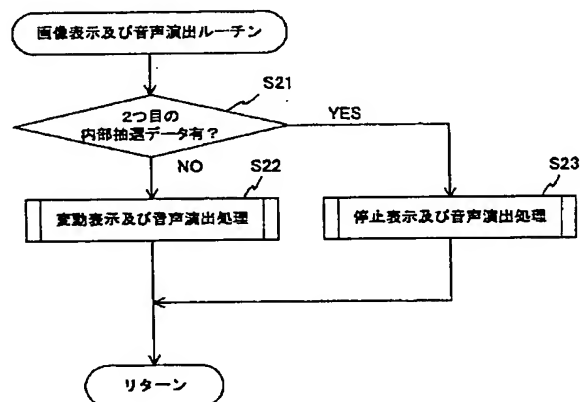
EB56 EB58

(54)【発明の名称】 パチンコ遊技機、パチンコ遊技機の音声制御方法、サーバ及び記憶媒体

(57)【要約】

【課題】 入賞状態に移行してから常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでの入賞変動期間と、入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う通常常時変動期間とを、遊技者が区別しやすくなる可能性を生ずるとともに、遊技者自身が図柄の変動を停止させたという実感を得やすくなる可能性のあるパチンコ遊技機を提供する。

【解決手段】 パチンコ遊技機10は、複数の図柄が変動表示又は停止表示される表示装置32を備え、前記表示装置32において、前記複数の図柄のうち少なくとも一つ以上の図柄が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が始動口44に入球したことを契機に、入賞状態に移行し、前記常時変動表示されている図柄が入賞変動期間を経た後、停止表示される。この際、入賞状態に移行する前後で異なる音声演出を、パチンコ遊技機10に備えられたスピーカ46を通じて行う。パチンコ遊技機10は、保留球がなくなり、入賞状態から通常常時変動に戻った場合には、入賞状態に移行する前の音声演出を行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機であって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項2】 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機であって、前記入賞状態に移行してから前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでを入賞変動期間と、前記入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動

を行う期間を通常常時変動期間と、では、異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項3】 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御方法であって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行う制御内容を含むことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御方法。

【請求項4】 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御を行うサーバであって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御を行うサーバ。

【請求項5】 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が

停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御方法を実行可能なプログラムが記憶されている記憶媒体であって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御方法を実行可能なプログラムが記憶されている記憶媒体。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、パチンコ遊技機、パチンコ遊技機の音声制御方法、サーバ及び記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】近年では、遊技者が自身の遊技力により有利な遊技結果を得ることが可能であるスロットマシンが非常に流行している。このスロットマシンは、遊技者がメダル投入及びレバー操作後に回転する3つの回転ドラムを各押しボタンを押すことにより停止させ、停止した際の図柄の組合せ内容によって大当たり遊技へ移行するといったものであるが、回転ドラムの停止のタイミングは、遊技者の操作にすべてかかっており、所定の図柄で回転ドラムを停止させるために、狙い打ちするいわゆる目押しを行ったり、押しボタンの押し順番を変えるなど、遊技者は様々な遊技テクニックを駆使して遊技を行う。このような遊技者の遊技テクニックを駆使させるところに、スロットマシンが流行している要因の一つであると思われる。

【0003】一方、パチンコ遊技においては、液晶ディスプレイパネル等の表示装置において可変表示ゲーム等のゲームを実行することにより、パチンコ遊技をする遊技者の興味を持続させて遊技者を飽きさせんとする試みがなされてきた。ここでの可変表示ゲームは、スロットマシンにおいてなされる遊技を模したゲームであり、パチンコ遊技機においては、パチンコ球が始動口に入球したことを契機として複数の図柄の各々が変動し始め、自動的に停止したこれらの図柄の組合せが所定の組合せ（例えば「7」-「7」-「7」）となったときに、パチンコ遊技を大当たり遊技に移行することとしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のパチンコ遊技機においては、変動している図柄が遊技者の操作とは関係なく自動的に停止するようになされていたため、遊技者は始動口にパチンコ球をできるだけ多く入球させることでしか遊技力を発揮することができなかった。このため、遊技者が変動図柄の停止に積極的に関与できるようにすること、即ち、パチンコ遊技機に遊技者の技術介入性を持たせることが要請されている。

【0005】また、パチンコ遊技においては、遊技球を始動口に入球させた後に、自動的に図柄が停止されるのを見ているのみであり、はずれ遊技が連続して行われるときには、遊技者にとって自身の力で遊技状況を変えよ

うとする手段もなく、苦痛にさえ感じることになる場合もある。

【0006】一方、特開2001-239023号公報では、図柄の変動停止時間を短縮することを目的としたものではあるが、遊技者が変動図柄の停止に積極的に関与し得るパチンコ遊技機として認識することも可能である。このパチンコ遊技機は、図柄の変動停止時間を短縮することを目的としたものではあるが、遊技者が変動図柄の停止に積極的に関与し得るパチンコ遊技機として、

予め図柄を変動表示させておき（このような変動態様のことを「常時変動」という）、遊技者の操作によりパチンコ球が所定ゲートを通じたことを契機に図柄の変動を停止させるようなパチンコ遊技機が提案されている。

【0007】しかしながら、このようなパチンコ遊技機においては、いわゆる保留球が存在する場合（パチンコ球が始動口に入球したことがストックされている場合）には、複数の変動図柄が連続的に停止してしまうため、図柄が初めから変動しているかどうか非常にわかり難く、遊技者自身が図柄の変動を停止させたという実感が得られ難くなる。

【0008】本発明は、上述した如き課題に鑑みてなされたものであり、入賞状態に移行してから常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでの入賞変動期間と、入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う通常常時変動期間とを、遊技者が区別しやすくなる可能性を生ずるとともに、遊技者自身が図柄の変動を停止させたという実感を得やすくなる可能性のあるパチンコ遊技機を提供することを目的とする。

【0009】  
【課題を解決するための手段】以上のような目的を達成するために、本発明のパチンコ遊技機は、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるパチンコ遊技機において、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とする。

【0010】これにより、遊技者に自力で識別情報画像を停止表示させたという感覚を持たせることが可能となる他、入賞状態に移行する前後において異なる音声演出が行われるので、入賞状態に移行したときの変動と、入賞状態に移行していない状態での変動と、を遊技者に区別しやすくなり、新鮮味のある図柄の変動態様を継続的に遊技者に提供することが可能となる。

【0011】尚、「入賞状態に移行する前後において異なる音声演出が行われる」例としては、後述の発明の実施の形態にて説明するように、通常常時変動時には特にBGMを発生させることなく遊技が進行し、パチンコ球が始動口に入球し入賞状態に移行した際にはBGMを発生させ、保留球がなくなり通常常時変動に戻った際には、BGMを終了させるといった演出が行なわれたり、

通常常時変動時には通常常時変動時用のBGMを発生させ、パチンコ球が始動口に入球し入賞状態に移行した際には、入賞変動期間用のBGMに切り換え、保留球がなくなり通常常時変動に戻った際には、再び通常常時変動時用のBGMに切り換えるといった演出が行なわれる等が挙げられる。

【0012】より具体的には、本発明は、以下のようなものを提供する。

【0013】(1) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機であって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機。

【0014】上述した(1)の発明によれば、「前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行う」ことにより、表示部における識別情報画像の変動の態様が、入賞状態に移行する前後のいずれの変動態様であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0015】また、入賞状態へ移行後の音声演出を、入賞状態へ移行する前の音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとすることによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようせしめることもできる可能性が生じる。

【0016】(2) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機であって、前記パチンコ遊技機は、前記入賞状態に移行してから前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでを入賞変動期間と、前記入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う期間を通常常時変動期間と、では、異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機。

【0017】上述した(2)の発明によれば、「前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行う」ことにより、表示部における識別情報画像の変動の態様が、入賞変動期間と通常常時変動期間のいずれの変動態様であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0018】また、入賞変動期間における音声演出を、通常変動期間における音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとすることによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようせしめることもできる可

能性が生じる。

【0019】(3) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御方法であって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行う制御内容を含むことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御方法。

【0020】上述した(3)の発明によれば、「前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行う制御内容を含む」ことにより、表示部における識別情報画像の変動の様相が、入賞状態に移行の前後のいずれの変動様相であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0021】また、入賞状態へ移行後の音声演出を、入賞状態へ移行する前の音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとするような音声制御を行うこととによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようせしめることもできる可能性が生じる。

【0022】(4) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御方法であって、前記入賞状態に移行してから前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでを入賞変動期間と、前記入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う期間を通常常時変動期間と、では、異なる音声演出を行う制御内容を含むことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御方法。

【0023】上述した(4)の発明によれば、「前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行う制御内容を含む」ことにより、表示部における識別情報画像の変動の様相が、入賞変動期間と通常常時変動期間のいずれの変動様相であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0024】また、入賞変動期間における音声演出を、通常変動期間における音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとするような音声制御を行うこととによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようせしめることもできる可能性が生じる。

【0025】(5) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチ

ンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御を行うサーバであって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御を行うサーバ。

【0026】上述した(5)の発明によれば、「前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行う」ことにより、表示部における識別情報画像の変動の様相が、入賞状態に移行の前後のいずれの変動様相であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0027】また、入賞状態へ移行後の音声演出を、入賞状態へ移行する前の音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとすることによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようせしめることもできる可能性が生じる。

【0028】(6) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御を行うサーバであって、前記入賞状態に移行してから前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでを入賞変動期間と、前記入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う期間を通常常時変動期間と、では、異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御を行うサーバ。

【0029】上述した(6)の発明によれば、「前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行う」ことにより、表示部における識別情報画像の変動の様相が、入賞変動期間と通常常時変動期間のいずれの変動様相であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0030】また、入賞変動期間における音声演出を、通常変動期間における音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとすることによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようせしめることもできる可能性が生じる。

【0031】(7) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御方法を実行可能なプログラムが記憶されている記憶媒体であって、前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制

10

20

30

40

50

御方法を実行可能なプログラムが記憶されている記憶媒体。

【0032】上述した(7)の発明によれば、「前記入賞状態に移行する前後において異なる音声演出を行う」ようなプログラムを実行することにより、表示部における識別情報画像の変動の様相が、入賞状態に移行の前後のいずれの変動様相であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0033】また、入賞状態へ移行後の音声演出を、入賞状態へ移行する前の音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとするようなプログラムを実行することによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようになるようせしめることもできる可能性が生じる。

【0034】(8) 複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部を備え、前記表示部において、前記複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示され、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球し入賞状態に移行したことを契機に、前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されているパチンコ遊技機の音声制御方法を実行可能なプログラムが記憶されている記憶媒体であって、前記入賞状態に移行してから前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでを入賞変動期間と、前記入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う期間を通常常時変動期間と、では、異なる音声演出を行うことを特徴とするパチンコ遊技機の音声制御方法を実行可能なプログラムが記憶されている記憶媒体。

【0035】上述した(8)の発明によれば、「前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行う」ようなプログラムを実行することにより、表示部における識別情報画像の変動の様相が、入賞変動期間と通常常時変動期間のいずれの変動様相であるのかを、遊技者に区別しやすくする可能性が生じる。

【0036】また、入賞変動期間における音声演出を、通常変動期間における音声演出よりも遊技者にとって心地良いものとするようなプログラムを実行することによって、遊技者が積極的にパチンコ球を入賞させたいようになるようせしめることもできる可能性が生じる。

【0037】[用語の定義等] 本発明に係る「識別情報」とは、文字、記号、絵柄又は模様(図柄)等の視覚によって識別可能な情報をいう。また、「識別情報画像」とは、この識別情報画像を示す画像をいう。この識別情報画像は、後述する図柄の画像に対応するものである。

【0038】また、「表示」とは、識別情報画像が遊技者に視認され得る状態におかれることをいう。また、「表示部」とは、上述の如き識別情報画像を表示するものであり、例えば、表面に識別情報画像が描かれたドラム体、リール体等の可動体や、これらに限らず、識別情

報画像が変動表示及び停止表示される液晶ディスプレイ(以下、LCDパネルと称する)やブラウン管等の表示装置をも含む概念である。

【0039】また、「変動表示」とは、識別情報が順次変化する場合、例えば1つの識別情報である図柄「7」から他の識別情報である図柄「8」へ変更する場合や、図柄「9」から他の図柄「☆」へ変更して表示する場合と、識別情報を表示し得る表示領域において1つの識別情報が表示されたままその識別情報が移動して表示されるような場合、例えば、1つの図柄「7」が表示領域内において表示されつつ移動する場合と、の双方又はいずれか一方を含む概念である。

【0040】更に、識別情報の表示様相が変化する場合、例えば1つの図柄「7」が変形して横長に表示されたり縦長に表示されたりする場合や、図柄が拡大されて表示されたり、縮小されて表示される場合等も含む概念である。

【0041】これに対して、「停止表示」とは、ある識別情報を示す識別情報画像を所定の位置に停止させて表示する様相をいう。

【0042】更にまた、「常時変動表示」とは、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球する前には、既に識別情報画像が変動表示されている様相である。従来の遊技では、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球したことを契機に停止表示されていた識別情報画像が変動表示され始め、自動で停止表示されていたが、「常時変動表示」が行われる本発明における遊技では、上述した如く、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球する前には、既に識別情報画像の少なくとも一つが変動表示されており、遊技者の発射するパチンコ球が所定の位置を通過又は入球したことを契機に、変動表示されていた識別情報画像が停止表示されるのである。

【0043】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施例について図面に基いて説明する。

【0044】[パチンコ遊技機の構成] 本発明による遊技機の概観を示す正面図を図1に示す。尚、以下において説明する実施形態においては、本発明に係る遊技機に好適な実施形態として本発明をパチンコ遊技機に適用した場合を示す。

【0045】パチンコ遊技機10には、本体枠12と、本体枠12に組み込まれた遊技盤14と、遊技盤14の前面に設けられた本体枠12の窓枠16と、窓枠16の下側で本体枠12の前面に設けられた上皿20及び下皿22と、下皿22の右側に設けられた発射ハンドル26と、前面から見て本体枠12の四隅に設けられたスピーカ46(46a~46d)と、が配置されている。

【0046】また、遊技盤14の前面には複数の障害釘(図示せず)が打ちこまれている。尚、釘を打ち込むよ

うな構成とせず、遊技盤14を樹脂素材で成形し、この樹脂素材の遊技盤14に金属製の棒状体を遊技盤14の前方向に突出するように植設する構成としてもよく、上述した如き構成したパチンコ遊技機10（パチコン機）にも本発明を適用することができる。尚、本明細書においては、パチンコ遊技機10とは、パチコン機をも含む概念である。

【0047】更に、発射ハンドル26は本体枠12に対して回動自在に設けられており、遊技者は発射ハンドル26を操作することによりパチンコ遊技を進めることができるのである。発射ハンドル26の裏側には、発射モータ28が設けられている。

【0048】更にまた、発射ハンドル26の周縁部には、タッチセンサ29が設けられている。遊技者の手がタッチセンサ29に触れたときには、タッチセンサ29から触接検出信号が発せられ、この信号が発せられたことにより遊技者が発射ハンドル26を握持したとされるのである。発射ハンドル26が遊技者によって握持され、かつ、時計回り方向へ回動操作されたときには、その回動角度に応じて発射モータ28に電力が供給され、上皿20に貯留されたパチンコ球が遊技盤14に順次発射される。

【0049】発射されたパチンコ球は、遊技盤14上に設けられたガイドレール30に案内されて遊技盤14の上部に移動し、その後、上述した複数の障害釘との衝突によりその進行方向を変えながら遊技盤14の下方に向かって落下する。

【0050】遊技盤14を拡大した拡大正面図を図2に示す。尚、上述した図1に示した構成要素と対応する構成要素には同一の符号を付した。また、図2は、上述した障害釘について省略したものを示した。

【0051】遊技盤14の前面の略中央には、後述する如き表示部である表示装置32（「複数の識別情報画像が変動表示又は停止表示される表示部」に相当する）が設けられている。表示装置32の上部の中央には、表示装置52が設けられている。この表示装置52は、例えば7セグメント表示器で構成されており、表示情報である普通図柄が、変動と停止とを繰り返すように可変表示される。

【0052】表示装置32の左右の側部には、球通過検出器55a及び55bが設けられている。この球通過検出器55a又は55bは、その近傍をパチンコ球が通過したことを検出したときには、上述した表示装置52において、普通図柄の変動表示が開始され、所定の時間経過した後、普通図柄の変動表示が停止する。この普通図柄は、数字や記号等からなる情報であり、例えば「0」から「9」までの数字や「☆」等の記号である。

【0053】この普通図柄が所定の図柄、例えば「7」となって停止して表示されたときには、後述する始動口44の左右の両側に設けられている可動片58a及び5

8bを駆動するためのソレノイド57（図示せず）に電流を供給し、始動口44にパチンコ球が入りやすくなるように可動片58a及び58bを駆動し、始動口44を開放状態となるようにする。尚、始動口44を開放状態とした後、所定の時間が経過したときには、可動片を駆動し始動口44を閉鎖状態として、パチンコ球が入りにくくなるようにするのである。

【0054】上述した表示装置52の左右の両側には4つの保留ランプ34a～34dが設けられている。この保留ランプ34a～34dは、遊技者の操作によりパチンコ球が始動口44に入球されたことにより、パチンコ球が始動口44に入球したことがストックされた場合には、後述する如く、そのストックされている内部抽選データの数に基づいて点灯されることとなるのである。

【0055】更に、表示装置52の上部には一般入賞口50が設けられている。また、遊技盤14の下部には、パチンコ球の入賞口38が設けられている。この入賞口38の近傍には、シャッタ40が開閉自在に設けられている。シャッタ40は後述する可変表示ゲームが大当たり状態になったときには開放状態となるようにソレノイド48により駆動される。

【0056】上述した表示装置32の左右の両側には一般入賞口54a及び54bが設けられている。更に、表示装置32の下部の左右の両側には一般入賞口54c及び54dが設けられている。また、遊技盤14の左右の端部には、特別入賞口56a及び56bが設けられ、入賞口38の左右の両側には、特別入賞口56c及び56dが設けられている。

【0057】また、後述する可変表示ゲームが開始されて表示装置32に表示される複数の図柄、例えば3つの識別情報である図柄を停止表示状態に移行する契機となる球検知センサ42を有する始動口44が設けられている。上述した入賞口38、始動口44、一般入賞口54a～54d及び特別入賞口56a～56dにパチンコ球が入賞したときには、入賞口の種類に応じて予め設定されている数のパチンコ球が下皿22に払い出されるようになされている。尚、本実施形態では、パチンコ球が始動口44にパチンコ球が入球することにより、後述する如く、「常時変動表示されている識別情報画像」が「停止表示」されるが、「パチンコ球が所定の位置を通過又は入球したことを契機にして常時変動表示されている識別情報画像が停止表示される」ものであればよく、パチンコ球が始動口44以外の位置に入球したことを契機にしたり、パチンコ球が入球するものでなくとも通過したことを契機にしたりしてもよい。

【0058】更にまた、表示装置32の左右の両側には、パチンコ球の経路を所定の方向に誘導するための転動誘導部材59a及び59bも設けられている。また、遊技盤14の外側の左上側と右上側とはは装飾ランプ36a及び36bが設けられている。



【0059】尚、上述した表示装置32において後述する演出画像を表示する部分は、液晶ディスプレイパネルからなるものであってもブラウン管からなるものであってもよい。また、上述した例においては、表示装置32は、遊技機であるパチンコ遊技機10の遊技盤14の前面の略中央に設けられている場合を示したが、遊技者が見得るような位置であれば遊技機の何処の位置に表示装置32を設けることとしてもよい。

【0060】〔パチンコ遊技機の制御部の構成〕本発明の実施形態であるパチンコ遊技機の制御回路を示すブロック図を図3に示す。

【0061】上述した発射ハンドル26は、主制御回路60のインターフェイス回路群62に接続され、インターフェイス回路群62は、入出力バス64に接続されている。発射ハンドル26の回転角度を示す角度信号は、インターフェイス回路群62により所定の信号に変換された後、入出力バス64に供給される。入出力バス64は、中央処理回路（以下、CPUと称する）66にデータ信号又はアドレス信号が入出力されるようになっている。また、CPU66の内部には、後述するタイマ（図示せず）が備えられている。

【0062】また、発射ハンドル26に備えられたタッチセンサ29も、主制御回路60のインターフェイス回路群62に接続されている。タッチセンサ29は、遊技者の手が触れたことを検出する触接検出信号をインターフェイス回路群62に発した後、入出力バス64に供給される。

【0063】また、上述したインターフェイス回路群62には、球検知センサ42も接続されており、パチンコ球が始動口44を通過したときには、球検知センサ42は、検出信号をインターフェイス回路群62に供給する。更に、インターフェイス回路群62には、球通過検出器55も接続されており、球通過検出器55はパチンコ球がその近傍を通過したことを検出したときには、検出信号をインターフェイス回路群62に供給する。

【0064】上述した入出力バス64には、ROM（リード・オンリー・メモリ）68及びRAM（ランダム・アクセス・メモリ）70も接続されている。ROM68は、パチンコ遊技機の遊技全体の流れを制御する制御プログラムを記録する。更に、ROM68は、制御プログラムを実行するための初期データや、装飾ランプ36の点滅動作パターンを制御するプログラムや、表示装置32における表示制御をするプログラム等や、通常常時変動の際、又は表示装置32において可変表示ゲームが実行される際に必要となる音声演出を制御するプログラムも記憶する。また、RAM70は、上述したプログラムで使用するフラグや変数の値を記憶する。

【0065】本実施形態における表示制御をするプログラムは、パチンコ遊技機10に対して、「常時変動表示されている前記複数の識別情報画像の変動速度に応じた

態様で前記識別情報画像を停止表示させる」ものを含み、また、「常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されたとき又は停止表示された後に、新たに常時変動表示されている識別情報画像を表示させる」もの、「パチンコ球が所定の位置を通過又は入球する以前から、前記表示部において前記変動表示されている識別情報画像を停止表示させようとする動作をキャラクタが行う演出を表示させる」もの、「常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されたとき又は停止表示された後に、新たに常時変動表示されている識別情報画像を表示させる」ものをも含む。尚、本実施形態でのプログラムは、ROM68に記録されていたが、ハードディスク装置、CD-ROM及びDVD等の記憶媒体に記録されていてもよい。また、これらのプログラムは、予め記録されているものでなくとも、電源投入後にRAM70等に記録されるものでもよい。更にまた、プログラムの各々が別々の記憶媒体に記録されていてもよい。

【0066】また、本実施形態における音声制御をするプログラムは、パチンコ遊技機10に対し、「前記入賞変動期間と前記通常変動期間とは異なる音声演出を行う」ものであるが、これは、「入賞変動期間」にはBGMを発生し、「通常変動期間」にはBGMを発生させないというものでよく、また、「入賞変動期間」と「通常変動期間」とで各々異なるBGMを発生させるものでもよい。尚、本実施形態でのプログラムは、ROM68に記録されていたが、ハードディスク装置、CD-ROM及びDVD等の記憶媒体に記録されていてもよい。また、これらのプログラムは、予め記録されているものでなくとも、電源投入後にRAM70等に記録されるものでもよい。更にまた、プログラムの各々が別々の記憶媒体に記録されていてもよい。

【0067】更に、入出力バス64には、インターフェイス回路群72も接続されている。インターフェイス回路群72には、発射モータ28、ソレノイド48及び57、保留ランプ34（34a～34d）及び装飾ランプ36が接続されており、インターフェイス回路群72は、CPU66における演算処理の結果に応じて上述した装置の各々を制御すべく駆動信号や駆動電力を供給する。

【0068】また、ソレノイド48は、上述した如きシャッタ40を開閉駆動するためのものであり、ソレノイド57は、上述した如き可動片58a及び58bを駆動するためのものである。更に、保留ランプ34（34a～34d）は、表示装置32に表示する図柄の組合せが有効となった回数を示すものである。更にまた、装飾ランプ36は、遊技が大当たりとなったときやリーチとなったときに遊技者にその旨を示すべく点滅又は点灯するものである。

【0069】更にまた、入出力バス64には、乱数を発生させるための乱数発生部65が接続されている。乱数

を発生させるための命令がCPU66から乱数発生部65へ発せられたときには、乱数発生部65は所定の範囲の乱数を発生させ、その乱数の値を示す信号を入出力バス64に発するのである。CPU66は、この発生された乱数により遊技の進行状況を決定する。これにより、後述するステップS14で行われる内部抽選処理が行われるのである。

【0070】また、本実施形態のパチンコ遊技機は、「複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像が常時変動表示」されるものである。遊技者の発射するパチンコ球が始動口44に入球する前には、既に「複数の識別情報画像のうち少なくとも一つ以上の識別情報画像」が変動表示されており、現在の行程の遊技が行われる。そして、遊技者の発射するパチンコ球が始動口44に入球したことを契機にして「常時変動表示されている識別情報画像」が停止表示され、後述する如く、次の行程の遊技を開始すべく、識別情報画像が変動表示されるのである。

【0071】このため、パチンコ遊技機10の電源を投入した後は、後述する如く、乱数発生部65から発せられた乱数に基づいて、遊技の進行状況を決定する内部抽選処理が行われ、常時変動表示が開始される。また、始動口44にパチンコ球を入球することによって図柄が停止表示され、併せて、次の行程における遊技の進行状況を決定すべく、内部抽選が行われるのである。

【0072】更にまた、上述した保留ランプ34(34a~34d)は、後述する如く、内部抽選処理により記録された内部抽選データが3つ記録されている場合には、1つ目が点灯し、内部抽選データが4つ記録されている場合には、2つ目が点灯し、内部抽選データが5つ記録されている場合には、3つ目が点灯し、内部抽選データが6つ記録されている場合には、4つ目が点灯する。

【0073】尚、乱数発生部65から発せられた乱数は、抽選結果を示すデータとしてRAM70に記録される。例えば、図4に示す如きデータマップを用いて抽選結果を示すデータの記録処理について説明する。図4は、抽選結果を示すデータであり、それらデータの各々の記憶領域を、小さい四角で示す。

【0074】抽選結果を示すデータは、図4(A)に示す如く、RAM70には、図の符号A0の位置から順に抽選された順に記録される。その際には、符号A0の位置に記録されている内部抽選データを読み出し、その内部抽選データに基づいて現在の行程における図柄の変動表示が開始される。尚、内部抽選データが記録されていない場所には、空きデータとして「FFFFFFFF」が記録されている。また、図柄が停止表示されるまでに抽選が行われた場合には、図4(B)に示す如く、符号A0の位置から順に空きデータを検索し、空きデータがあると判別した場合には、その場所(図4(A)の場合

では、符号A1の位置に該当する)に内部抽選データが記録される。また、順次記録され、図4(C)に示す如く、符号A0の位置から符号A5の位置、つまり、最大6つの抽選結果データが記録された場合には、抽選が行われても記録されない。また、抽選結果に基づいて、変動表示されていた図柄が停止表示されることにより、その図柄の変動表示が停止表示となった際には、図4

(D)に示す如く、符号A0の位置を空きデータとして「FFFFFFFF」が記録される。そして、図4(E)に示す如く、符号A1の位置に記録されている内部抽選データを符号A0の位置に記録させる。尚、符号A1の位置以降の内部抽選データも同様に記録され、最後のデータが記録されていた位置(図4(E)の符号A1の位置に該当する)に空きデータ「FFFFFFFF」を記録する。これによって、符号A0の位置に内部抽選データが記録されることとなる。

【0075】また、図4(A)に示す状態であった場合には、現在の行程における遊技が終了する、即ち、パチンコ球が始動口44に入球した場合には、常時変動表示されている図柄が停止表示されることとなるが、それよりも前に、次の行程における遊技の進行状況を決定すべく、内部抽選処理が行われる。このため、その内部抽選処理により生成された内部抽選データが、図4(B)に示す如く、符号A1の位置に記録され、変動表示されていた図柄が停止表示された際には、図4(E)に示す如く、符号A0の位置には、図4(B)における符号A1の位置に記録されていた内部抽選データが記録されることとなり、符号A0の位置には必ず内部抽選データが記録されていることになる。このため、符号A0の位置には、現在の行程における内部抽選データが記録され、符号A1の位置には、次の行程における内部抽選データが記録され、また、符号A2~A5の位置には、1~4個の保留球としての内部抽選データが記録されることとなる。

【0076】更にまた、入出力バス64には、通信用インターフェイス回路72も接続されており、通信用インターフェイス回路72は、公衆電話回線網やローカルエリアネットワーク(LAN)等の通信回線を介して、サーバ80等との通信をするためのものである。尚、本実施形態では、パチンコ遊技機のみからなる構成としたが、後述する如く、パチンコ遊技機10は、所定の情報の送受信を行うことができるサーバ等に接続された構成としてもよい。

【0077】更にまた、インターフェイス回路群72には、表示制御装置200も接続されており、表示制御装置200は、主制御回路60から発せられる画像表示命令に基づいて表示制御装置200に接続されている表示装置32を駆動するための駆動信号を発する。

【0078】更にまた、インターフェイス回路群72には、音声制御装置220も接続されており、音声制御装



置220は、主制御回路60から発せられる音声発生命令に基づいて音声制御装置220に接続されているスピーカ46(46a~46d)を駆動するための駆動信号を発する。

【0079】[パチンコ遊技機の表示制御装置の構成]  
上述した表示制御装置200の回路を示すブロック図を図5に示す。

【0080】インターフェイス回路202は、入出力バス204に接続されており、上述した主制御回路60から発せられた画像表示命令は、インターフェイス回路202を介して入出力バス204に供給される。入出力バス204は、中央処理回路(以下、CPUと称する)206にデータ信号又はアドレス信号が入出力されるようになされている。

【0081】上述した入出力バス204には、ROM(リード・オンリー・メモリ)208及びRAM(ランダム・アクセス・メモリ)210も接続されている。ROM208は、主制御回路60から発せられた画像表示命令に基づいて表示装置32に供給する駆動信号を生成するための表示制御プログラムを記憶する。一方、RAM210は、上述したプログラムで使用するフラグや変数の値を記憶する。

【0082】更に、入出力バス204には、画像データプロセッサ(以下、VDPと称する)212も接続されている。このVDP212は、いわゆるスプライト回路、スクリーン回路、及びパレット回路等の回路を含み、表示装置32に画像を表示させるための種々の処理を行うことができる処理装置である。

【0083】上述したVDP212には、主制御回路60から発せられた画像表示命令に応じた画像データを記憶するためのビデオRAM214と、背景の画像データや、図柄の画像データや、キャラクタの画像データ等の画像データを記憶する画像データ用ROM216と、が接続されている。更に、VDP212には、表示装置32を駆動するための駆動信号を発する駆動回路218も接続されている。

【0084】上述したCPU206は、ROM208に記憶されている表示制御プログラムを読み出して実行することにより、主制御回路60から発せられた画像表示命令に応じて表示装置32に表示する画像データをビデオRAM214に記憶させる。主制御回路60から発せられる画像表示命令には、背景表示命令や、図柄表示命令、キャラクタ表示命令等の表示命令が含まれる。

【0085】また、画像データ用ROM216は、上述した如く、識別情報画像である図柄の画像のデータや、演出画面として表示される動体物等のキャラクタのキャラクタ画像データ、表示装置32の背景を構成する背景画像データ等の画像データを記憶する。

【0086】上述した図柄の画像データは、表示装置32において図柄を変動表示するときや、停止表示する際

に用いるものであり、多様の表示態様、例えば、拡大した画像、縮小した画像、変形した画像等に応じた画像データを含むものである。また、上述したキャラクタ画像データは、キャラクタが一連の動作をする態様を表示するのに必要となる画像データを含むものである。

【0087】次に、上述したビデオRAM214に生成される画像データの概念を示す概略図を図6に示す。

【0088】図6に示す如く、画面表示命令によってビデオRAM214に生成される画像データの大きさ(以下、画面画像領域R1と称する)は、表示装置32に表示される表示領域R2より大きくなるように設定されている。尚、図6においては、画面画像領域R1は、実線で囲まれた領域を示し、表示領域R2は、破線で囲まれた領域を示す。このように設定することにより、後述する如く、表示装置32に表示すべき画像を円滑にスクロール表示させることができるのである。

【0089】主制御回路60から図柄表示命令が発せられたときには、VDP212は、識別情報画像である図柄を示す各画像D1~D3の画像データを画像データ用ROM216から読み出した後、表示装置32に図柄の画像を表示すべき位置に対応するビデオRAM214における位置に読み出した画像データを配置する。

【0090】また、主制御回路60からキャラクタ表示命令が発せられたときには、VDP212は、キャラクタ画像C1~C3の各々の画像データを画像データ用ROM216から読み出した後、表示装置32にキャラクタの画像を表示すべき位置に対応するビデオRAM214における位置に読み出した画像データを配置する。

【0091】更にまた、主制御回路60から背景表示命令が発せられたときには、VDP212は、背景の画像B1の画像データを画像データ用ROM216から読み出した後、表示装置32に背景の画像を表示すべき位置に対応するビデオRAM214における位置に読み出した画像データを配置する。

【0092】VDP212は、ビデオRAM214に画像データを生成した後、表示領域R2に記憶されている画像データのみをビデオRAM214から読み出し、これを表示信号として駆動回路218に供給するのである。そして、上述した如く、1コマ毎画像を表示させ、その画像の表示位置を変更させることによって、「識別情報画像」である図柄が「変動表示若しくは停止表示される」のである。

【0093】[画像の表示例] 上述した如く画像データをビデオRAM214上に記録することによって表示装置32に画像が表示され、遊技が進められる。この遊技において表示される画像の表示例については図7から図11に示すようになる。

【0094】図7は、3つの図柄の各々が常時変動表示されている態様で表示される例を示すものである。また、図8は、3つの図柄のうち、1つの図柄が、停止表

示されている態様で表示された例を示すものであり、図 9 は、3 つの図柄の各々が停止表示されていた態様を示すものである。更にまた、図 10 は、3 つの図柄の各々が停止表示された後に、その図柄の各々が画面外にスクロールし、併せて、新たな 3 つの図柄の各々が、常時変動表示しながら画面外からスクロールして登場する態様で表示された例を示すものであり、図 11 は、常時変動表示が始まってから所定の時間を経過した場合、3 つの図柄の各々が常時変動表示されている態様で表示された例を示すものである。尚、図 7 から図 11 に示す図柄の各々は、静止画像として描かれているが、変動表示若しくは停止表示されていることが明確に表現できないため、変動表示されている図柄は実際に図柄が変動表示しているかの如く描かれている。

【0095】表示装置 32 の上部には、図 7 に示す如く、3 つの図柄が変動表示されており、表示装置 32 の下部にキャラクターが表示されている。3 つの図柄の各々は、縦方向に回転する 3 枚のボードに描かれており、そのボードが半回転する度に変化することにより、図柄の変動表示が実行される。また、キャラクターは、変動表示されている 3 つの図柄の各々を停止表示させるべく、ビーム光線を発するが、そのビーム光線をボードに当てることなく、3 つの図柄の各々は変動表示されている。尚、3 つの図柄の各々は、後述する如く、パチンコ球が上述した始動口 44 に入球するまで変動表示を続けるのである。

【0096】3 つの図柄の各々が変動表示されているときに、パチンコ球が上述した始動口 44 に入球することにより、キャラクターから発せられたビーム光線が左側の図柄が描かれたボードに命中し、その図柄が描かれたボードは、その回転を減速させながら下方に移動する。そして、左側の図柄は、図 8 に示す如く、停止表示され、有効な図柄として確定する。また、この停止表示させるための演出は、左側の図柄と同様に、右側の図柄、中央の図柄においても行われ、図 9 に示す如く、3 つの図柄の各々がすべて停止表示されるのである。尚、左側の図柄、右側の図柄、中央の図柄の順番で演出が行われる。

【0097】このような演出を行うことにより、キャラクターが、識別情報画像として常時変動表示されている図柄を停止表示させようとする状況を表示させることとなり、遊技者に対してパチンコ球を所定の位置に通過又は入球させることを促し、更に遊技者自身の遊技力により識別情報画像が停止することを強調して表示することにより、遊技者の遊技に対する熱意を増加させるといった効果を奏するのである。

【0098】停止表示した図柄の組合せが、「7」-「7」-「7」等の所定の組合せ（以降、大当たりパターンと称する）と一致した場合には、遊技者に有利な遊技状態、即ち、大当たり状態に移行するのである。一方、停止表示した図柄の組合せが、上述した大当たりパ

ターンと一致しなかった場合には、引き続き通常の遊技を行う。

【0099】通常遊技を続ける場合では、図 10 に示す如く、前回の行程において停止表示された 3 つの図柄は下方にスクロールし、画面外に消え去る。また、それと同時に、表示装置 32 の上方から、変動表示されている 3 つの図柄がスクロールしながら表示装置 32 に表示される。

【0100】このような演出を行うことにより、「前記常時変動表示されている識別情報画像が停止したとき又は停止した後に、新たに常時変動表示されている識別情報画像を表示させる」こととなるので、遊技者自身が発射したパチンコ球が所定の位置を通過又は入球したことを契機に、常時変動表示される識別情報画像が停止表示されるといった、いわば遊技者の直接的な遊技動作に関連して識別情報画像を遊技者自身の力で停止させるといった新しい遊技形態を提供する遊技機（即ち、遊技者が自分の意思で識別情報画像を停止表示させることができる技術介入性を有するパチンコ遊技機）において、常時変動されている識別情報画像が例えば停止及び変動を連続的に繰り返している場合でも、初めは変動表示された状態から最後に停止表示された状態になるといった変動、停止の順序を強制的に表示させることが可能となり、新鮮味のある表示態様を提供することができるとともに、上述した遊技者の直接的な遊技動作に関連して識別情報画像を遊技者自身の力で停止させるといった感覚を遊技者に与え続けることが可能となるのである。

【0101】また、保留球がある場合でも識別情報画像が初めから変動しているように見えるので、常時変動表示されている識別情報画像と停止表示される識別情報画像とを区別することができ、遊技者が自分の意思で識別情報画像を停止表示させたことを認識しやすくさせることができるのである。

【0102】また、この他にも各種演出が行われる。例えば、パチンコ球を始動口 44 に所定の時間入球できなかった場合には、図 11 に示す如く、キャラクターが「だれか～はやくとめてくれ～」等、パチンコ球を早く始動口 44 に入球するべく、遊技者に音声を発する演出も行われる。

【0103】このような演出を行うことにより、常時変動表示される識別情報画像が長時間に亘って停止されることがないときでも、単調に常時変動表示が行われ続けることのないようにすることができ、遊技者の飽きや諦めといったマイナス思考を払拭させ、遊技者の遊技に対する意欲を継続させることが可能となるのである。

【0104】更にまた、変動表示する図柄の変動速度が通常の変動速度と異なる演出が行われることがあり、この場合では、変動速度が遅ければ遅いほど停止表示される図柄が大当たりパターンと一致する確率が高いことを示す。尚、本実施形態では、変動速度は、速度の速い順

に、「通常速度」、「低速度」、「最低速度」、の3段階で変動表示される。また、変動表示される3つの図柄の各々は、変動速度に基づいて表示される位置が異なり、変動速度が遅ければ遅いほど、低い位置で変動表示が行われる。更にまた、変動表示される図柄の変動速度が「通常速度」より遅い場合には、「通常速度」の場合よりも短い時間で停止表示させる演出が行われる。尚、図柄が下方に移動するように表示される速度は、一定である。

【0105】このような演出を行うことにより、「常時変動表示されている前記複数の識別情報画像の変動速度に応じた態様で前記識別情報画像を停止表示させる」こととなるので、識別情報画像の停止表示の態様に変化をつけることができ、遊技者が発射したパチンコ球を所定の位置を通過又は入球させることで識別情報画像を停止させているといったリアル感を遊技者に提供するとともに、新鮮味のある表示態様を提供できるのである。

【0106】更にまた、上述した図柄の少なくとも一つが最初から停止表示されている演出も行われることがあり、この場合では、停止表示される図柄が大当たりパターンと一致する確率が高いことを示す。尚、上述した如く、変動速度が3段階で変動表示されていたが、この場合では、それに「停止」を加え、全部で4段階に設定される。

【0107】このような演出を行うことにより、「前記常時変動表示されている識別情報画像の数に応じて大当たり信頼度を報知する」こととなるので、初級者でも容易に遊技状況を把握でき、リーチがかかっているときでも大当たり遊技への期待感を持ちながら遊技を行うことが可能となる。また、遊技を中止しようとしている者にとっては、容易に遊技状況を把握できるため、自己のパチンコ遊技機において引き続き遊技を行うか否かの判断がつき易くなり、また、どのパチンコ遊技機で遊技を行うか選択している者にとっては、その大当たりの信頼度に応じてどのパチンコ遊技機において遊技を行うかの判断がつき易くなる。特に、大当たりの信頼度が高い場合には、遊技を中止しようとしている者に遊技を引き続き行うことを促すこととなり、どのパチンコ遊技機で遊技を行うか選択している者に遊技を行うように促すこととなるのである。

【0108】[パチンコ遊技機の音声制御装置の構成] 上述した音声制御装置220の回路を示すブロック図を12に示す。

【0109】インターフェイス回路222は、入出力バス224に接続されており、上述した主制御回路60から発せられた音声出力命令は、インターフェイス回路222を介して入出力バス224に供給される。入出力バス224は、CPU226にデータ信号又はアドレス信号が入出力されるようになされている。

【0110】上述した入出力バス224には、ROM2

28及びRAM230も接続されている。ROM228は、主制御回路60から発せられた音声発生命令に基づいてスピーカ46に供給する音声信号を生成するための音声制御プログラムを記憶する。一方、RAM230は、上述したプログラムで使用するフラグや変数の値を記憶する。

【0111】更に、入出力バス224には、音声データプロセッサ（以下、ADPと称する）232も接続されている。このADP232は、スピーカ46から音声を発生させるための様々な処理を行うことができる処理装置である。

【0112】上述したADP232には、遊技状況に応じて発生させる各々の音声データを記憶する音声データ用ROM236と、が接続されている。更に、ADP232には、スピーカ46をへの音声信号を発する駆動回路238も接続されている。

【0113】また、音声データ用ROM236は、上述した如く、通常常時変動期間における音声演出となる音声のデータ、入賞変動期間における音声演出となる音声のデータ、大当たり時の音声演出となる音声データ等の各種音声データを記憶する。

【0114】[音声の発生例] 上述した如く、音声データ用ROM236から適宜音声データを読み込み、音声演出を行なうことによって、遊技が進められる。この遊技において発生される音声演出の例については以下のようになる。

【0115】例えば、通常常時変動時には特にBGMを発生させることなく遊技が進行し、パチンコ球が始動口44に入球し入賞状態に移行した際にはBGMを発生させ、保留球がなくなり通常常時変動に戻った際には、BGMを終了させるといった演出が行なわれる。

【0116】また、通常常時変動時には通常常時変動時用のBGMを発生させ、パチンコ球が始動口44に入球し入賞状態に移行した際には、入賞変動期間用のBGMに切り換え、保留球がなくなり通常常時変動に戻った際には、再び通常常時変動時用のBGMに切り換えるといった演出が行なわれる。

【0117】このような演出を行なうことにより、遊技者には自己のパチンコ遊技機が入賞変動期間中であるのか、または通常常時変動期間中であるのかを容易に区別することができるのである。

【0118】また、この他にも各種演出が行なわれる。例えば、入賞変動期間中のBGMを通常常時変動期間中のBGMよりも遊技者にとって心地良いものとする演出も行われる。

【0119】このような演出を行うことにより、BGMの心地よさを求めて、遊技者が積極的にパチンコ球を始動口に入球させたいようになるように仕向け、遊技者の遊技に対する意欲を継続させることが可能となるのである。

【0120】更にまた、パチンコ球を始動口44に所定

10

20

30

40

50

の時間入球できなかった場合には、図11に示す如く、キャラクタが「だれか～はやくとめてくれ～」等、パチンコ球を早く始動口44に入球するべく遊技者に声を発する演出に併せて、BGMを変更する演出も行われる。

【0121】このような演出を行うことにより、長時間に亘って通常時変動期間が継続したときでも、単調に常時変動表示が行われ、単調な音声演出が続くことのないようにすることができ、遊技者の飽きや諦めといったマイナス思考を払拭させ、遊技者の遊技に対する意欲を継続させることが可能となるのである。

【0122】更にまた、変動表示する図柄の変動速度が通常の変動速度と異なる演出が行われる場合に、これに併せてBGMを変更する演出も行われる。

【0123】このような演出を行うことにより、視覚と聴覚の双方から識別情報画像の停止表示の態様の変化を認識させることができ、遊技者が発射したパチンコ球を所定の位置を通過又は入球させることで識別情報画像を停止させているといったリアル感を遊技者に提供するとともに、新鮮味のある演出を提供できるのである。

【0124】更にまた、上述した図柄の少なくとも一つが最初から停止表示されている演出が行われる場合に、これに併せてBGMを変更する演出も行われる。

【0125】このような演出を行うことにより、視覚と聴覚の双方から「前記常時変動表示されている識別情報画像の数に応じて大当たり信頼度を報知する」こととなるので、初級者でも容易に遊技状況を把握でき、リーチがかかっているときでも大当たり遊技への期待感を持ちながら遊技を行うことが可能となる。また、遊技を中止しようとしている者にとっては、容易に遊技状況を把握できるため、自己のパチンコ遊技機において引き続き遊技を行うか否かの判断がつき易くなり、また、どのパチンコ遊技機で遊技を行うか選択している者にとっては、その大当たりの信頼度に応じてどのパチンコ遊技機において遊技を行うかの判断がつき易くなる。特に、大当たりの信頼度が高い場合には、遊技を中止しようとしている者に遊技を引き続き行うことを促すこととなり、どのパチンコ遊技機で遊技を行うか選択している者に遊技を行うように促すこととなるのである。

【0126】〔パチンコ遊技機の動作〕上述した主制御回路60において実行されるパチンコ遊技機10を制御するサブルーチンを図13から図16に示す。尚、図13及び図14に示すサブルーチンは、予め実行されているパチンコ遊技機10のメインプログラムから所定のタイミングで呼び出されて実行されるものである。

【0127】以下においては、パチンコ遊技機10は予め起動されており、上述したCPU66において用いられる変数は所定の値に初期化され、定常動作しているものとする。

【0128】最初に、パチンコ球検出ルーチンでは、図

13に示す如く、入賞口にパチンコ球が入ったか否かを判断する(ステップS11)。この入賞口は、例えば、上述した図2に示した例においては、一般入賞口50及び54a～54d並びに特別入賞口56a～56dである。ステップS11において、入賞口にパチンコ球が入ったと判別したときには、入賞口の種類に応じて予め定められた数のパチンコ球を払い出す処理を実行する(ステップS12)。

【0129】次に、始動口にパチンコ球が入ったか否かを判断する(ステップS13)。この始動は、例えば、上述した図2に示した例においては、始動口44である。このステップS13において、始動口にパチンコ球が入ったと判別したときには、内部抽選処理を実行する(ステップS14)。

【0130】上述した内部抽選処理では、CPU66が乱数発生部65に乱数を発生させる。発生した乱数は、図4に示す如く、抽選結果を示す内部抽選データとしてRAM70に記録される。尚、上述した如く、RAM70に6つの抽選結果を示す内部抽選データが記録されている場合には、抽選が行われても記録されない。

【0131】尚、本実施形態におけるパチンコ遊技機10においては、CPU66は、電源投入時に、乱数発生部65により乱数を発生させ、その乱数に基づいて内部抽選データをRAM70の符号A0の位置に記録する。これにより、後述する如く、変動表示が行われることとなる。つまり、パチンコ球が始動口44に入球する前にはすでに内部抽選データに基づく遊技結果が決定されており、遊技者の操作によりパチンコ球が始動口44に入球することにより、停止表示され、また、入球後に行われる内部抽選処理では、その次の行程で行われる遊技における遊技結果を決定するものになるのである。

【0132】また、本ステップS57の処理において、遊技者の操作によりパチンコ球を始動口44に入球させた場合には、CPU66は、内部抽選処理を行うが、その処理に基づいて内部抽選データをRAM70の符号A2～A5の位置に記録させた場合には、上述した如く、保留ランプ34a～34dの各々を点灯させる。具体的には、CPU66は、内部抽選データがRAM70の符号A0～A2に記録されていると判別した場合には、保留ランプ34aのみを点灯させ、内部抽選データがRAM70の符号A0～A3に記録されていると判別した場合には、保留ランプ34a、34bの2つを点灯させ、内部抽選データがRAM70の符号A0～A4に記録されていると判別した場合には、保留ランプ34a～34cを点灯させ、また、内部抽選データがRAM70の符号A0～A5に記録されていると判別した場合には、保留ランプ34a～34dを点灯させる。これにより、パチンコ球が始動口44に入球したことがストックされる場合には、保留ランプ34a～34dの各々が点灯することとなるのである。

【0133】更に、球通過検出器をバチンコ球が通過したか否かを判断する（ステップS15）。この球通過検出器は、例えば上述した図2に示した例においては、球通過検出器55a及び55bである。このステップS15において、球通過検出器をバチンコ球が通過したと判別したときには、上述した如く、表示装置52において普通図柄を変動表示させる処理を実行する（ステップS16）。

【0134】尚、上述した如く、変動表示された普通図柄が停止したときに所定の図柄となったときには、可動片58a及び58bを駆動して始動口44を開放状態となるようにして、始動口44にバチンコ球が入りやすくなるようにするのである。

【0135】〔画像表示及び音声演出処理〕一方、画像表示及び音声演出ルーチンでは、図14に示す如く、2つ目の内部抽選データ、即ち、図4に示す符号A1の位置に記録されているデータが「FFFFFFFF」であるか否かを判断する（ステップS21）。尚、符号A1の位置に記録されているデータが「FFFFFFFF」でない場合には、2つ目の内部抽選データが記録されていると判別し、符号A1の位置に記録されているデータが「FFFFFFFF」である場合には、2つ目の内部抽選データが記録されていると判別する。2つ目の内部抽選データが記録されていない場合には、ステップS22に処理を移し、2つ目の内部抽選データが記録されている場合には、ステップS23に処理を移す。尚、RAM70の符号A0の位置には、上述した如く、常時内部抽選データが記録されているため、バチンコ球を始動口44に入球され、内部抽選処理が行われることにより、符号A1の位置に内部抽選データが記録されることにより、ステップS23に処理を移し、後述する停止表示及び音声演出が行われるのである。

【0136】次いで、ステップS22の処理では、変動表示及び音声演出処理が行われる。この処理において、CPU66は、上述した如く、3つの図柄の各々を変動表示させ、併せて、キャラクタを表示させる。更に、画像表示に対応した音声演出もなされる。音声演出の手段については後述する。尚、最初から図柄の少なくとも一つが停止表示されている演出や、停止表示された後に、その停止表示された図柄をスクロールさせるとともに、新たに表示される変動表示されている図柄をスクロールして登場させる演出も行われ、画像表示に対応した音声演出もなされる。この処理が終了した後、直ちに本サブルーチンを終了させる。

【0137】また、ステップS23の処理では、停止表示及び音声演出処理が行われる。この処理において、CPU66は、上述した如く、変動表示されている3つの図柄の各々を停止表示させ、併せて、キャラクタを表示させる。更に、画像表示に対応した音声演出もなされる。音声演出の手段については後述する。この処理が終

了した後、直ちに本サブルーチンを終了させる。

【0138】上述したステップS22においては、図15に示すサブルーチンが呼び出される。

【0139】最初に、変動速度データの記録処理を行う（ステップS31）。内部抽選データは、図4に示す如く、RAM70に記録されており、CPU66は、その内部抽選データに基づいて図柄の変動速度データを算出し、RAM70に記録する。この処理を終了させた後、ステップS32に処理を移す。

【0140】尚、この変動速度データは、上述した如く、3つの図柄の各々において、「通常速度」、「低速度」、「最低速度」、「停止」のいずれかを示す値に設定される。また、上述した如く、最初から停止表示される図柄が少なくとも一つある場合には、変動速度データを、「停止」を示す値に設定させる。

【0141】次いで、図柄の表示位置を決定する（ステップS32）。この処理において、CPU66は、3つの図柄を表示させるべく、ステップS31で算出、記録された変動速度データと、ステップS14で記録された内部抽選データに基づいて、3つの図柄の各々を表示する位置を示す表示位置データと、その図柄の種類を示すデータと、を算出し、RAM70に記録する。この処理を終了させた後、ステップS33に処理を移す。

【0142】尚、表示装置32の縦方向における3つの図柄の表示位置データは、上述した3つの図柄の各々を描いた3枚のボードにおける回転軸の位置に相当するものである。一方、表示装置32の横方向における3つの図柄の表示位置データは、常に一定に決定されている。このため、3つの図柄の各々は、後述するステップS40の処理により画像データが再生され、表示装置32の横方向には揺動することなく、表示装置32の縦方向に向かって直線的に移動するように表示されることとなる。

【0143】また、停止表示された後に、表示装置32の画面外にスクロールして消え去る図柄の表示位置や、変動表示されるとともに、表示装置32の画面外からスクロールして登場する図柄等の表示位置も決定する。更にまた、表示装置32の縦方向における表示位置データは、変動速度データが「通常速度」より遅いものである場合には、「通常速度」よりも下方で変動表示させるべく、表示位置データが算出される。これによって、図柄を変動表示させるとともに、表示装置32の画面外からスクロールして登場するように表示させる場合では、CPU66は、表示装置32の縦方向に図柄を移動させるように順次表示位置データを算出することにより、図9に示す如く、図柄を表示装置32の縦方向に移動させるように表示させることとなる。その後、図7に示す如く、変動速度データに基づいて決定された表示位置で図柄を変動表示させる。また、停止表示された図柄が表示装置32の画面外にスクロールして消え去るように表示

する場合では、CPU66は、図9に示す如く、図柄を表示装置32の縦方向に移動させるように順次表示位置データを算出する。

【0144】次いで、図柄の変動表示画像データの記録処理を行う(ステップS33)。この処理において、CPU66は、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、図柄表示命令を表示制御装置200に供給する。尚、この命令には、図柄の表示位置を示すデータや、変動速度データ、内部抽選データ等が含まれている。

【0145】表示制御装置200では、インターフェイス回路群202、入出力バス204を介して、CPU206が図柄表示命令を受け取り、各データをRAM210に記録し、併せて、VDP212に図柄表示命令を供給する。図柄表示命令を受け取ったVDP212は、RAM208から各データを読み出すとともに、それらのデータに基づいて画像データ用ROM216から所望の図柄画像データを読み出し、ビデオRAM214に記録する。

【0146】尚、VDP212は、図柄を所望の変動速度で変動表示させるべく、RAM208に記録された変動速度データに基づいて、画像データ用ROM216から読み出す図柄画像データを決定し、その図柄画像データを読み出すのである。また、VDP212は、最初から停止表示される図柄を表示する場合では、変動速度データが「停止」を示す値に設定されているため、その変動速度データに基づいて図柄を停止表示させるのである。この処理を終了させた後、ステップS34に処理を移す。

【0147】次いで、ステップS34では、タイマが所定値以上であるか否かを判断する。CPU66は、自身に内蔵されているタイマが所定値以上であると判別した場合には、ステップS35に処理を移し、内蔵されているタイマが所定値未満であると判別した場合には、ステップS37に処理を移す。尚、本実施形態でのパチンコ遊技機では、所定値が300と設定されており、タイマがカウントアップされてから300秒、即ち、5分を経過する前である場合には、ステップS35に処理を移し、タイマがカウントアップされてから300秒、即ち、5分を経過した後である場合には、ステップS37

に処理を移すこととなる。

【0148】次いで、キャラクタ画像表示位置を決定する(ステップS35)。この処理において、CPU66は、キャラクタ画像を表示装置32に表示させるべく、内部抽選データと、現在の遊技状態を示すデータと、に基づいて、キャラクタ画像の表示位置を示す表示位置データと、その画像データの種類を示すデータと、を算出し、それらのデータをRAM70に記録する。この処理を終了させた後、ステップS36に処理を移す。

【0149】次いで、キャラクタ画像データの記録処理

が行われる(ステップS36)。この処理において、CPU66は、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、キャラクタ表示命令を表示制御装置200に供給する。尚、この命令には、キャラクタ画像の表示位置データや、その画像データの種類を示すデータ等が含まれている。

【0150】表示制御装置200では、インターフェイス回路群202、入出力バス204を介して、CPU206がキャラクタ表示命令を受け取り、各データをRAM210に記録し、併せて、VDP212にキャラクタ表示命令を供給する。キャラクタ表示命令を受け取ったVDP212は、キャラクタ画像を表示すべく、RAM210に記録されているデータに基づいて画像データ用ROM216から所望のキャラクタ画像データを読み出し、この画像データをビデオRAM214に記録する。尚、このステップS36の処理では、上述した如く、キャラクタから発せられるビーム光線は図柄に命中せず、図柄が変動表示され続け、キャラクタが図柄を停止表示させることを試みている演出がなされることとなる。この処理を終了させた後、ステップS40に処理を移す。

【0151】一方、ステップS37の処理では、停止表示させる旨の音声データの再生処理を行う。この処理において、CPU66は、ROM68に記録された音声データを読み出し、入出力バス64を介して、インターフェイス回路群72に供給する。音声データを受け取ったインターフェイス回路群72は、その音声データを所定の信号に変換し、その所定の信号をスピーカ46(46a~46d)に供給する。これにより、所定の信号を受け取ったスピーカ46(46a~46d)は、遊技者に停止表示させる旨の音声を発するのである。この処理が終了した後、ステップS38に処理を移す。

【0152】次いで、キャラクタ画像表示位置を決定する(ステップS38)。この処理において、CPU66は、ステップS35の処理と同様に、キャラクタ画像を表示装置32に表示させるべく、内部抽選データと、現在の遊技状態を示すデータと、に基づいて、キャラクタ画像の表示位置を示す表示位置データと、その画像データの種類を示すデータと、を算出し、それらのデータをRAM70に記録する。この処理を終了させた後、ステップS39に処理を移す。

【0153】次いで、キャラクタ画像データの記録処理が行われる(ステップS39)。この処理において、CPU66は、ステップS36の処理と同様に、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、キャラクタ表示命令を表示制御装置200に供給する。尚、この命令には、キャラクタ画像の表示位置データや、その画像データの種類を示すデータ等が含まれている。

【0154】表示制御装置200では、インターフェイス回路群202、入出力バス204を介して、CPU206がキャラクタ表示命令を受け取り、各データをRAM



M210に記録し、併せて、VDP212にキャラクタ表示命令を供給する。キャラクタ表示命令を受け取ったVDP212は、キャラクタ画像を表示すべく、RAM210に記録されているデータに基づいて画像データ用ROM216から所望のキャラクタ画像データを読み出し、この画像データをビデオRAM214に記録する。尚、このステップS39の処理では、遊技者に図柄を停止表示させることを促すキャラクタ画像データが記録される。この処理を終了させた後、ステップS40に処理を移す。

【0155】次いで、記録された画像データの再生処理を行う(ステップS40)。この処理において、VDP212は、ビデオRAM214に記録された画像データを読み出し、駆動回路218に供給し、画像データを受け取った駆動回路218は、画像データを所定の信号に変換し、表示装置32に供給する。これにより、所定の信号を受け取った表示装置32は、画像を表示するのである。

【0156】次いで、画像表示に応じた音声演出の選択及び発生処理を行う(ステップ41)。この処理において、CPU66は、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、音声発生命令を音声制御装置220に供給する。尚、この命令には、対応すべき画像に関する各データも含まれている。

【0157】音声制御装置220では、インターフェイス回路群222、入出力バス224を介してCPU226が音声発生命令を受け取り、各データをRAM230に記録し、併せて、ADP232に音声発生命令を供給する。音声発生命令を受け取ったADP232は、RAM228から各データを読み出すとともに、それらのデータに基づいて音声データ用ROM236から所望の音声データを読み出し、駆動回路238に供給する。音声データを受け取った駆動回路238は音声データを所定の信号に変換しスピーカ46に供給し、これにより所定の信号を受け取ったスピーカ46は、通常常時変動時に対応した音声が発生するのである。この処理が終了した後、直ちに本サブルーチンを終了させる。

【0158】上述したステップS32、ステップS33、ステップS40の処理を行うことによって、「前記常時変動表示されている識別情報画像が停止したとき又は停止した後、新たに常時変動表示されている識別情報画像を表示させる」こととなるので、遊技者自身が発射したパチンコ球が所定の位置を通過又は入球したことを契機に、常時変動表示される識別情報画像が停止表示されるといった、いわば遊技者の直接的な遊技動作に関連して識別情報画像を遊技者自身の力で停止させるといった新しい遊技形態を提供する遊技機(即ち、遊技者が自分の意思で識別情報画像を停止表示させることができる技術介入性を有するパチンコ遊技機)において、常時変動されている識別情報画像が例えば停止及び変動を連

続的に繰り返し行っている場合でも、初めは変動表示された状態から最後に停止表示された状態になるといった変動、停止の順序を強制的に表示させることが可能となり、新鮮味のある表示態様を提供することができるとともに、上述した遊技者の直接的な遊技動作に関連して識別情報画像を遊技者自身の力で停止させるといった感覚を遊技者に与え続けることが可能となるのである。

【0159】また、保留球がある場合でも識別情報画像が初めから変動しているように見えるので、常時変動表示されている識別情報画像と停止表示される識別情報画像とを区別することができ、遊技者が自分の意思で識別情報画像を停止表示させたことを認識しやすくさせることができるのである。

【0160】上述したステップS23においては、図16に示すサブルーチンが呼び出される。

【0161】最初に、図柄の表示位置を決定する(ステップS51)。この処理において、CPU66は、ステップS32と同様に、3つの図柄を表示させるべく、ステップS31で算出、記録された変動速度データと、ステップS14で記録された内部抽選データに基づいて、3つの図柄の各々を表示する位置を示す表示位置データと、その図柄の種類を示すデータと、を算出し、RAM70に記録する。この処理を終了させた後、ステップS52に処理を移す。

【0162】尚、表示装置32の横方向における表示位置は、すでに決定されている。表示装置32の縦方向における表示位置は、上述した3つの図柄の各々を描いた3枚のボードにおける回転軸の位置に相当する。また、表示装置32の縦方向における表示位置は、変動速度データが通常より遅い場合には、通常よりも下方に表示すべく、表示位置を決定し、変動速度データが通常より早い場合には、通常よりも上方に表示すべく、表示位置を決定する。

【0163】また、CPU66は、変動表示されている図柄を、表示装置32の縦方向に移動させるように順次表示位置データを算出し、その後、図8に示す如く、停止表示させる表示位置で図柄を一度停止させる。この処理を終了させた後、ステップS52に処理を移す。

【0164】次いで、図柄の変動表示画像データの記録処理を行う(ステップS52)。この処理において、CPU66は、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、図柄表示命令を表示制御装置200に供給する。尚、この命令には、図柄の表示位置を示すデータや、変動速度データ、内部抽選データ等が含まれている。表示制御装置200では、インターフェイス回路群202、入出力バス204を介して、CPU206が図柄表示命令を受け取り、各データをRAM210に記録し、併せて、VDP212に図柄表示命令を供給する。図柄表示命令を受け取ったVDP212は、RAM208から各データを読み出すとともに、その各データに基

づいて画像データ用ROM216から所望の図柄画像データを読み出し、ビデオRAM214に記録する。この処理を終了させた後、ステップS53に処理を移す。

【0165】尚、VDP212は、このステップS52では、変動表示されていた図柄を、その変動速度を順次遅くして停止表示させるべく、RAM208に記録された変動速度データに基づいて、画像データ用ROM216から図柄画像データを読み出すのである。また、VDP212は、最初から停止表示される図柄が少なくとも一つある場合には、その図柄を停止表示させたまま表示するのである。

【0166】次いで、キャラクタ画像表示位置を決定する(ステップS53)。この処理において、CPU66は、ステップS35と同様に、キャラクタ画像を表示装置32に表示させるべく、内部抽選データと、現在の遊技状態を示すデータと、に基づいて、キャラクタ画像の表示位置を示す表示位置データと、その画像データの種類を示すデータと、を算出し、それらのデータをRAM70に記録する。この処理を終了させた後、ステップS54に処理を移す。

【0167】次いで、キャラクタ画像データの記録処理が行われる(ステップS54)。この処理において、CPU66は、ステップS36と同様に、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、キャラクタ表示命令を表示制御装置200に供給する。尚、この命令には、キャラクタ画像の表示位置データや、その画像データの種類を示すデータ等が含まれている。

【0168】表示制御装置200では、インターフェイス回路群202、入出力バス204を介して、CPU206がキャラクタ表示命令を受け取り、各データをRAM210に記録し、併せて、VDP212にキャラクタ表示命令を供給する。キャラクタ表示命令を受け取ったVDP212は、キャラクタ画像を表示すべく、RAM210に記録されているデータに基づいて画像データ用ROM216から所望のキャラクタ画像データを読み出し、この画像データをビデオRAM214に記録する。尚、このステップS54の処理では、上述した如く、キャラクタは、ビーム光線を発し、そのビーム光線を3つの図柄の各々に順次命中させ、3つの図柄の各々を停止表示させる演出がなされることとなる。この処理を終了させた後、ステップS55に処理を移す。

【0169】次いで、記録された画像データの再生処理を行う(ステップS55)。この処理において、VDP212は、ビデオRAM214に記録された画像データを読み出し、駆動回路218に供給し、画像データを受け取った駆動回路218は、画像データを所定の信号に変換し、表示装置32に供給する。これにより、所定の信号を受け取った表示装置32は、画像を表示するのである。この処理を終了させた後、ステップS59に処理を移す。

【0170】次いで、画像表示に応じた音声演出の選択及び発生処理を行う(ステップ59)。この処理において、CPU66は、入出力バス64、インターフェイス回路群72を介して、音声発生命令を音声制御装置220に供給する。尚、この命令には、対応すべき画像に関する各データも含まれている。

【0171】音声制御装置220では、インターフェイス回路群222、入出力バス224を介してCPU226が音声発生命令を受け取り、各データをRAM230に記録し、併せて、ADP232に音声発生命令を供給する。音声発生命令を受け取ったADP232は、RAM228から各データを読み出すとともに、それらのデータに基づいて音声データ用ROM236から所望の音声データを読み出し、駆動回路238に供給する。音声データを受け取った駆動回路238は音声データを所定の信号に変換しスピーカ46に供給し、これにより所定の信号を受け取ったスピーカ46は、入賞変動時に対応した音声が発生するのである。この処理を終了させた後、ステップS56に処理を移す。

【0172】次いで、タイマリセットを行う(ステップS56)。この処理において、CPU66は、自身に内蔵されているタイマをリセットする。これにより、ステップS34でモニタされていたタイマの値が「0」に設定され、再度タイマのカウントアップを開始させる。この処理を終了させた後、ステップS57に処理を移す。

【0173】次いで、内部抽選データの再記録処理を行う(ステップS57)。この処理において、CPU66は、図4に示す如く、RAM70の符号A0の位置に記録されている内部抽選データを「FFFFFFFF」とする。そして、符号A1の位置に記録されている内部抽選データが「FFFFFFFF」である場合には、この処理を終了させた後、ステップS58に処理を移す。一方、符号A1の位置に記録されている内部抽選データが「FFFFFFFF」でない場合には、その値を符号A0の位置に記録する。その後、符号A0及び符号A1の位置で記録した方法と同じように、符号A2、符号A3、符号A4の位置にも行う。そして最後に、符号A5の位置に記録されている内部抽選データが「FFFFFFFF」である場合には、これまでと同様に、この処理を終了させた後、ステップS58に処理を移す。一方、符号A5の位置に記録されている内部抽選データが「FFFFFFFF」でない場合には、その値を符号A4の位置に記録し、併せて、符号A5の位置に「FFFFFFFF」を記録する。そして、この処理を終了させた後、ステップS58に処理を移す。

【0174】次いで、ステップS58では、図柄を停止表示させたか否かを判断する。CPU66は、上述した如く、図柄を停止表示させている途中であると判別した場合には、再度ステップS51に処理を移し、図柄を完全に停止表示したと判別した場合には、この処理を終了

させた後、直ちに本サブルーチンを終了させる。

【0175】上述したステップS35からステップS40、及び、ステップS53からステップS56の処理を行うことによって、キャラクタが、識別情報画像として常時変動表示されている図柄を停止表示させようとする状況を表示させることにより、遊技者に対してパチンコ球を所定の位置に通過又は入球させることを促し、更に遊技者自身の遊技力により識別情報画像が停止することを強調して表示することにより、遊技者の遊技に対する熱意を増加させるといった効果を奏するのである。

【0176】上述したステップS31からステップS33、ステップS40、ステップS51、ステップS52、及び、ステップS57の処理を行うことによって、「前記常時変動表示されている識別情報画像の数に応じて大当たり信頼度を報知する」こととなるので、初級者でも容易に遊技状況を把握でき、リーチがかかっているときでも大当たり遊技への期待感を持ちながら遊技を行うことが可能となる。また、遊技を中止しようとしている者にとっては、容易に遊技状況を把握できるため、自己のパチンコ遊技機において引き続き遊技を行うか否かの判断がつき易くなり、また、どのパチンコ遊技機で遊技を行うか選択している者にとっては、その大当たりの信頼度に応じてどのパチンコ遊技機において遊技を行うかの判断がつき易くなる。特に、大当たりの信頼度が高い場合には、遊技を中止しようとしている者に遊技を引き続き行うことを促すこととなり、どのパチンコ遊技機で遊技を行うか選択している者に遊技を行うように促すこととなるのである。

【0177】上述したステップS31からステップS33、ステップS40、ステップS51、ステップS52、及び、ステップS57の処理を行うことによって、「常時変動表示されている前記複数の識別情報画像の変動速度に応じた態様で前記識別情報画像を停止表示させる」こととなるので、識別情報画像の停止表示の態様に変化をつけることができ、遊技者が発射したパチンコ球を所定の位置を通過又は入球させることで識別情報画像を停止させているといったリアル感を遊技者に提供するとともに、新鮮味のある表示態様を提供できるのである。

【0178】上述したステップS41、及び、ステップS59の処理を行うことによって、「前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行う」こととなるので、遊技中のパチンコ遊技機の識別表示画像の変動態様が、いずれの期間におけるものであるかを、遊技者に容易に認識せしめることが可能となる。更に、保留球が存在する時のBGMを常時変動時に比べ遊技者にとって心地良いものとする事により、遊技者が積極的に入賞したくなるようにせしめることが可能となる。

【0179】上述した実施形態においては、パチンコ遊

技機10のみからなる構成としたものであったが、図17に示す如く、パチンコ遊技機10がサーバ80に接続されて、所定の情報の送受信をサーバ80と行うことができる構成とすることとしてもよい。具体的には、サーバ80が、上述した如き画像データを生成し、その画像データを端末装置であるパチンコ遊技機10に供給し、画像データを受け取ったパチンコ遊技機10は、その画像データに基づいて画像を表示させてもよい。もちろん、パチンコ遊技機10は、サーバ80から供給される画像表示信号に基づいて、画像データを選択し、画像を表示させてもよい。

【0180】即ち、サーバ80は、パチンコ遊技機10を制御するものであり、以下の機能を有するものである。

【0181】(A) 「前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されたとき又は停止表示された後に、新たに常時変動表示されている識別情報画像を表示させる」ように制御する機能。

【0182】(B) 「パチンコ球が所定の位置を通過又は入球する以前から、前記表示部において前記変動表示されている識別情報画像を停止表示させようとする動作をキャラクタが行う演出を表示させる」ように制御する機能。

【0183】(C) 「前記常時変動表示されている識別情報画像の数に応じて大当たり信頼度を報知する」ように制御する機能。

【0184】(D) 「常時変動表示されている前記複数の識別情報画像の変動速度に応じた態様で前記識別情報画像を停止表示させる」ように制御する機能。

【0185】また、サーバ80が、上述した如き音声データを生成し、その音声データを端末装置であるパチンコ遊技機10に供給し、音声データを受け取ったパチンコ遊技機10は、その画像データに基づいて画像を表示するものであってもよい。もちろん、パチンコ遊技機10は、サーバ80から供給される音声発生信号に基づいて、音声データを選択し、音声を発生するものであってもよい。

【0186】即ち、サーバ80は、パチンコ遊技機10を制御するものであり、「前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行わしめる」機能を有するものである。

【0187】このようにサーバ80がパチンコ遊技機10を制御するような構成としても、前述したパチンコ遊技機10におけるものと同様の作用及び効果を得ることができるのである。

【0188】更にまた、サーバ80に接続されている端末装置としては、パーソナルコンピュータ、携帯電話等を用いても問題なく、サーバ80は、表示させるための画像データ、その画像データを示すデータ及び音声データ等を端末装置に送信することによって同様の作用及び

10

20

30

40

50

効果を得ることができるのである。

【0189】また、上述した実施形態においては、変動表示されていた識別情報画像が、変動表示されていた位置とは別の位置で停止表示され、停止表示された識別情報画像が画面外にスクロールして消え去るように表示するとともに、新たな識別情報画像が画面外からスクロールして登場するように表示させたが、別の方法により、「前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示したとき又は停止表示した後に、新たに常時変動表示されている識別情報画像を表示させる」ものであればよい。

【0190】例えば、変動表示されていた識別情報画像は、変動表示されていた位置とは別の位置で停止表示されるものであったが、変動表示されていた位置で停止表示されるものであっても問題なく、具体的には、変動表示されていた識別情報画像が、変動表示されていた位置と同じ位置で停止表示され、停止表示された識別情報画像が画面外にスクロールして消え去るように表示するとともに、新たな識別情報画像が画面外からスクロールして登場するように表示される演出をおこなってもよい。

【0191】また、新たな変動表示されている識別情報画像がスクロールしながら画面外から登場するものでなくとも問題なく、具体的には、図18に示す如く、変動表示されていた識別情報画像が変動表示されていた位置と異なる位置に移動し、停止表示される場合では、変動表示されていた識別情報画像が、変動表示されていた位置と異なる位置に移動することにより、変動表示されていた識別情報画像の背後から新たな識別情報画像が登場するように表示される演出をおこなってもよい。

【0192】もちろん、変動表示若しくは停止表示された識別情報画像が移動する場合には、直線的に移動するものでなくともよく、斜めに移動するものでも、揺動しながら移動するものでもよい。

【0193】更には、上述の各実施例に対応して、様々な音声演出を行うものであってもよい。

【0194】

【発明の効果】本発明によれば、「前記入賞状態に移行してから前記常時変動表示されている識別情報画像が停止表示されるまでを入賞変動期間とし、前記入賞状態に移行せずに識別情報画像が常時変動を行う期間を通常常時変動期間とするとともに、前記入賞変動期間と前記通常常時変動期間では異なる音声演出を行う」ことにより、遊技者に各々の変動態様を区別をしやすい可能性を生ずるとともに、遊技者自身が図柄の変動を停止させたという実感を得やすくなる可能性のあるパチンコ遊技機を提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明によるパチンコ遊技機の概観を示す正面図である。

【図2】 本発明によるパチンコ遊技機の遊技盤面の拡大

大正面図である。

【図3】 本発明の実施例であるパチンコ遊技機の主制御回路を示すブロック図である。

【図4】 本発明によるパチンコ遊技機の抽選結果の記録方法を示す概略図である。

【図5】 本発明の実施例であるパチンコ遊技機の表示制御装置を示すブロック図である。

【図6】 表示制御装置のビデオRAMにおける画像データの配置の概念を示す概略図である。

【図7】 本発明によるパチンコ遊技機の画面表示を示す概略図である。

【図8】 本発明によるパチンコ遊技機の画面表示を示す概略図である。

【図9】 本発明によるパチンコ遊技機の画面表示を示す概略図である。

【図10】 本発明によるパチンコ遊技機の画面表示を示す概略図である。

【図11】 本発明によるパチンコ遊技機の画面表示を示す概略図である。

【図12】 本発明の実施例であるパチンコ遊技機の音声制御装置を示すブロック図である。

【図13】 パチンコ遊技機において実行される制御処理のフローチャートを示す図である。

【図14】 パチンコ遊技機において実行される制御処理のフローチャートを示す図である。

【図15】 パチンコ遊技機において実行される制御処理のフローチャートを示す図である。

【図16】 パチンコ遊技機において実行される制御処理のフローチャートを示す図である。

【図17】 ネットワークを介してサーバとパチンコ遊技機とが接続された構成とした場合における概略を示す図である。

【図18】 本発明によるパチンコ遊技機の画面表示を示す概略図である。

【符号の説明】

10 パチンコ遊技機

26 発射ハンドル

32 表示装置

42 球検知センサ

44 始動口

46 スピーカ

60 主制御回路

62、72、202、222 インターフェイス回路群

64、204、224 入出力バス

65 乱数発生部

66、206、226 CPU

68、208、228 ROM

70、210、230 RAM

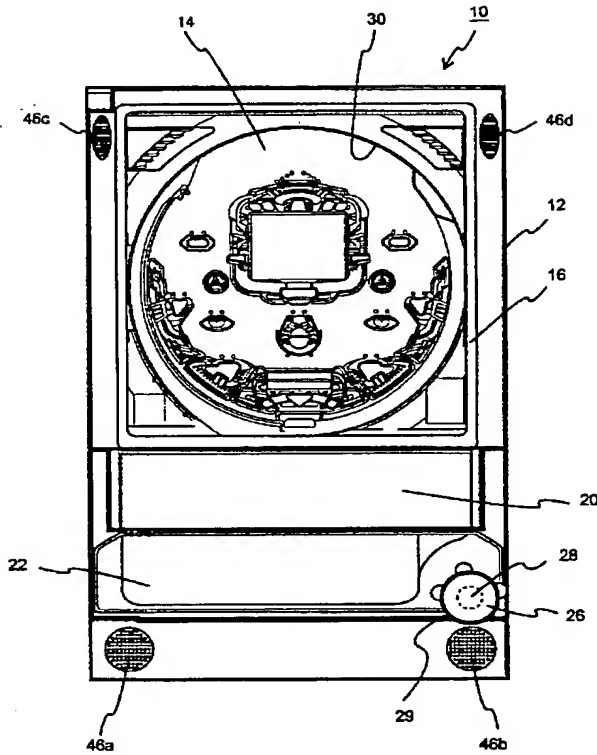
80 サーバ

200 表示制御装置

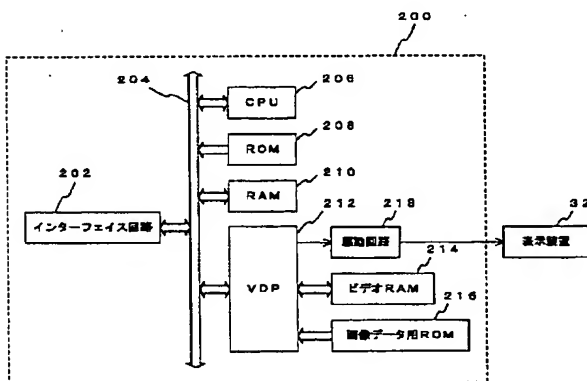
212 VDP  
214 ビデオRAM  
216 画像データ用ROM

\* 220 音声制御装置  
232 ADP  
\* 236 音声データ用ROM

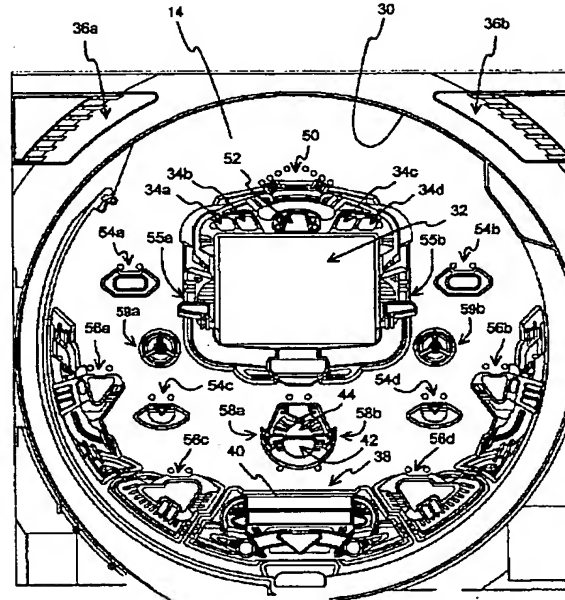
【図1】



【図5】



【図2】



【図4】

(A)

A0

A1

A2

A3

A4

A5

12345678

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

現在の行程の抽選結果データ

次の行程の抽選結果データ

(B)

A0

A1

A2

A3

A4

A5

12345678

23456789

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

現在の抽選結果

次の行程の抽選結果データ

貯留1

(C)

A0

A1

A2

A3

A4

A5

12345678

23456789

34567890

45678901

56789012

67890123

現在の抽選結果

次の行程の抽選結果データ

貯留1

貯留2

貯留3

貯留4

(D)

A0

A1

A2

A3

A4

A5

FFFFFFFF

23456789

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

FFFFFFFF

現在の抽選結果

次の行程の抽選結果データ

(E)

A0

A1

A2

A3

A4

A5

23456789

FFFFFFFF

FFFFFFFF

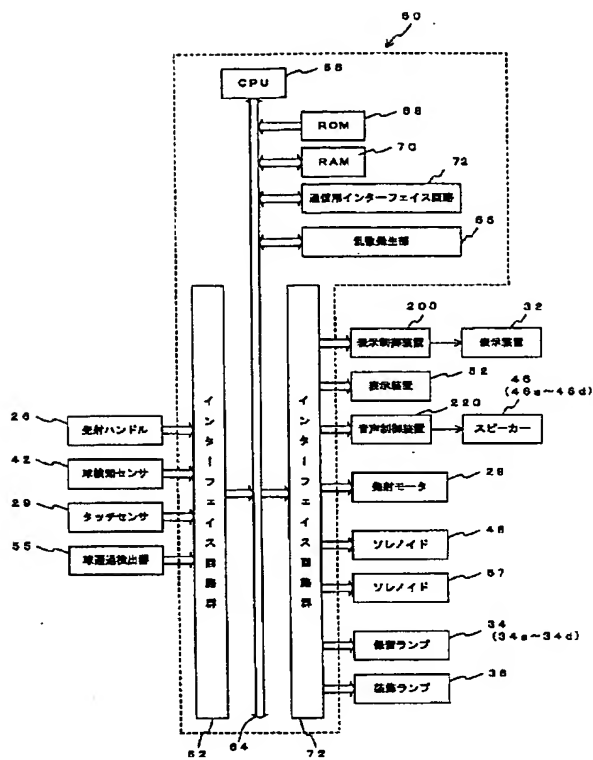
FFFFFFFF

FFFFFFFF

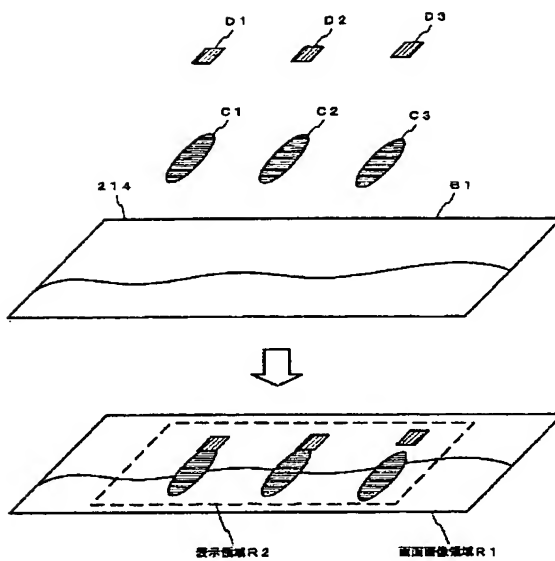
FFFFFFFF

現在の抽選結果

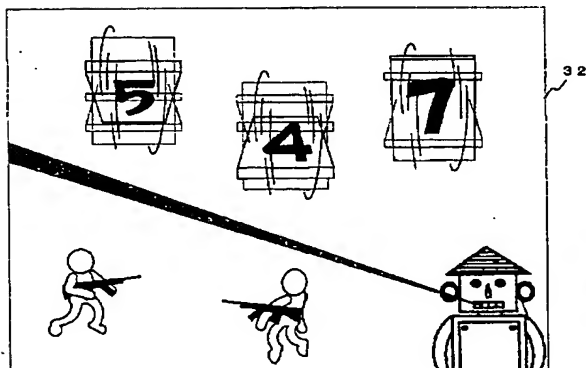
【図3】



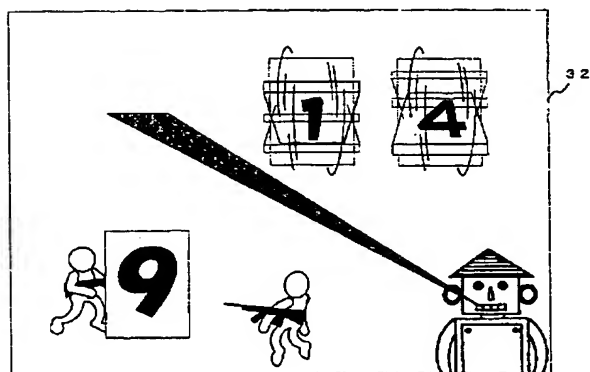
【図6】



【図7】

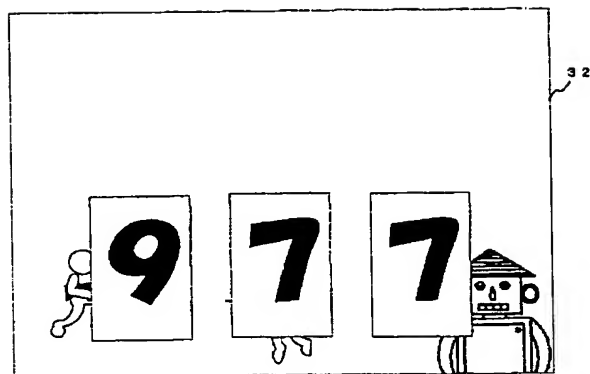


【図8】

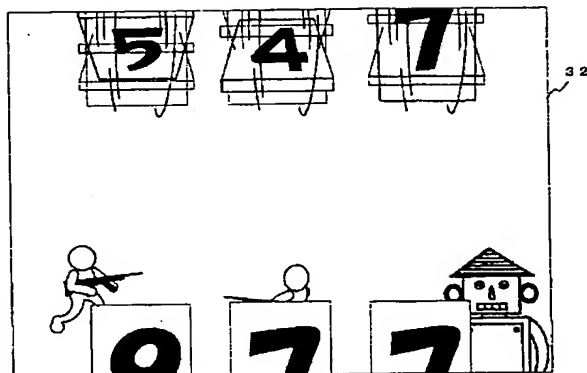




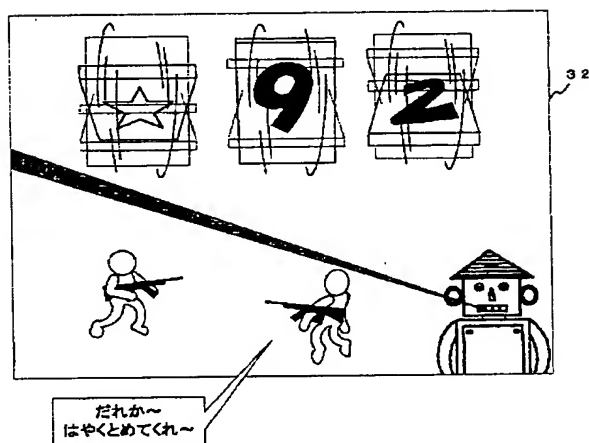
【図9】



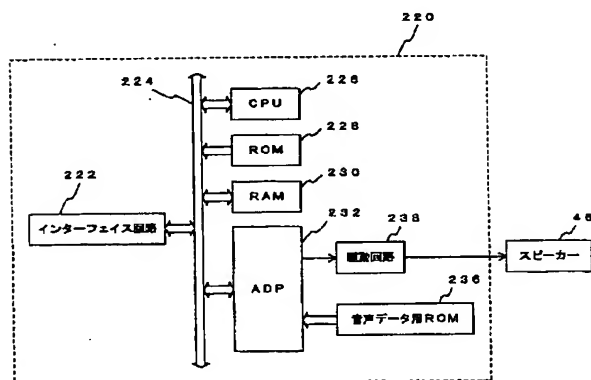
【図10】



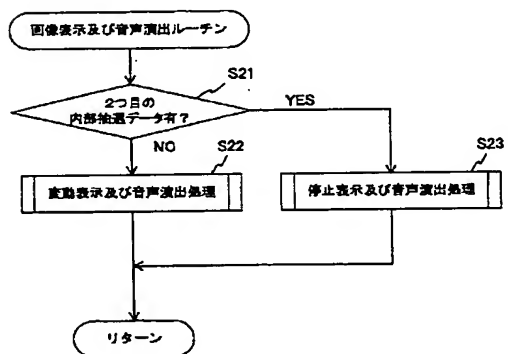
【図11】



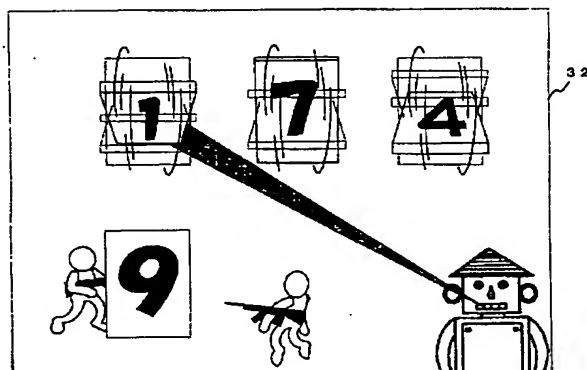
【図12】



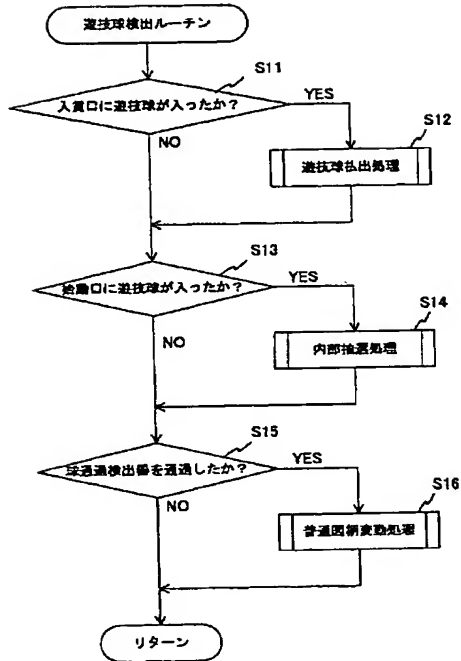
【図14】



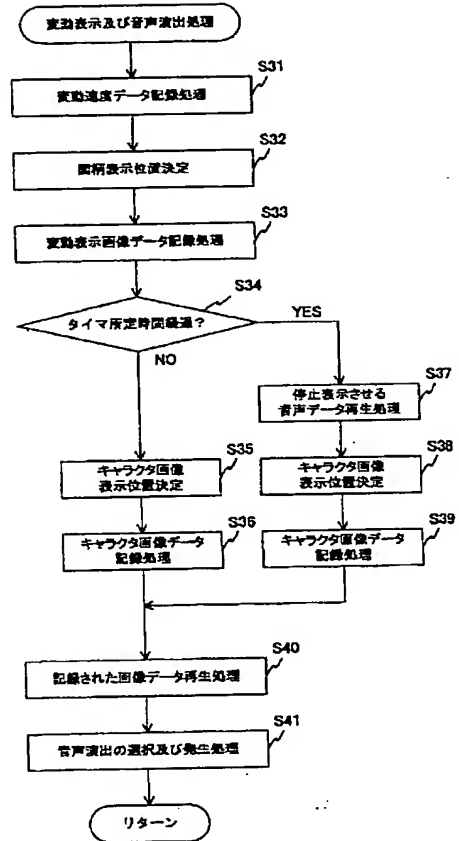
【図18】



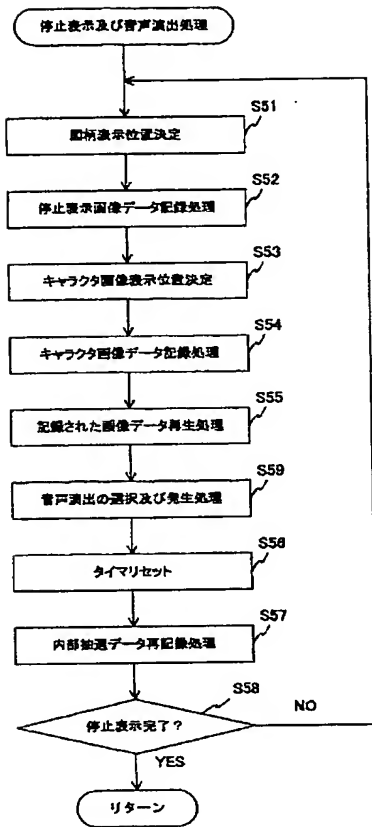
【図13】



【図15】



【図16】



【図17】

